

# カーテンのお取扱いについて



## スタイル編

この度は弊社カーテンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
商品をより美しく、長くご愛用いただけますよう、お取り扱い上の注意点をご紹介いたします。  
お読みになった後も保管してご覧ください。

## カーテンお届け後のセッティングについて

天然素材(綿・麻など)は独特の臭いがありますが、人体への影響はありません。  
時間と共に薄れてきます。換気をすることもおすすめです。

繊維製品は、室温、湿度、生地の重みにより伸び縮みすることがあります。

生地の性質上縫い目からの光漏れが気になる場合がございます。  
特に遮光生地などは目立つ場合があります。

折りたたんで梱包した状態でお届けとなります。

ベルベット(起毛)、綿、麻、絹、レーヨン、薄手のボイルカーテンなどはシワが目立つタイプの生地です。洗濯ラベルに従ってアイロンがけするか、またはスチームアイロンを使用することも効果的です。

チャコペン(紫色)が万一ついていた場合

時間と共に消えますが、湿らせた布で叩くと取り除く事ができます。この時、生地を濡らしすぎると変色、縮みの原因となりますので、ご注意ください。

## 普段のお手入れとご使用の注意について

お手入れは、生地を痛めないようにやさしく。

掃除機の弱生地表面のホコリを吸い取るようにしてください。ついでにレール上のホコリも掃除しましょう。

汚れがついたら、すぐに取り除くようにしてください。

長時間放置すると落ちにくくなり、それに日光が当たり高温になると、生地を傷める原因となります。

小さなシミ、汚れには市販の洋服用のシミ取りスプレーも効果的です。

漂白剤、カビ取り剤、消毒剤などは変色の原因となりますので使用しないで下さい。広範囲の汚れにはクリーニングを。

芳香剤、香水などをカーテンに吹きかけないでください。

変色・色落ちの原因となりますので、使用しないでください。

結露はカビ、シミの原因となります。換気と除湿に心がけてください。

特に裏がラミネート樹脂のカーテンは結露水により劣化が早まりますので注意が必要です。防カビ処理をしたシャワーカーテンでも、汚れがついたままですと、カビが発生することがあります。ご使用後は水などをかけて清潔にしてください。

## カーテンスタイル(固定式) お届け後のセッティングについて

ギャザーフック仕様の場合

約10cm間隔で通常のカーテンよりも多くレールランナーが必要となります。ギャザーフックは高さの微調整ができません。

レールを掛ける際は

レールの両端のストップ部分にカーテンの一番端のフックを引っ掛け、固定します。カーテン巾が大きく、だぶついて見える場合は、両端のギャザーフックを1つ内側のループにつけかえてみてください。

セパレートカーテンのリボンタッセルには調節可能なマジックテープがついています。

お好みの位置でカーテンを留めてセッティングしてください。

クロスオーバーカーテンについて

基本的に左右のカーテンが1/3掛け合わせとなっています。

バランススタイルについて

上部仕様が指定できるようになっています。バランスレール付仕様の場合は、バランスレールを一般レールの上に乗せるような位置で、ビス留めするのが一般的です。バランスレールの前面にあるマジックテープにバランスを留めてください。



ギャザーテープの上部がたるんでいるときは一回ギャザーフックを抜いて1つ内側へ移動します。

## カーテンスタイル(昇降式) お届け後のセッティングについて

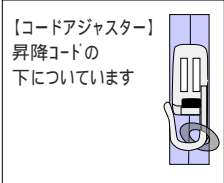
昇降してみて、万一水平に上がらないとき

シェードを一番下まで降ろした状態にして、コードアジャスター[右図]の昇降コードの結び目を一旦外してから、コードが均等な長さになるように、コードを巻き直してみてください。

出窓のシェードには

コーナーの角度を均等になるようにメカを取付けてください。シェードの昇降が重いと感じる場合は、左右のレールを手前にやや引き気味にして再度取付けてください。

メカに注油をしないよう、ご注意ください。生地にシミが移ることがあります。

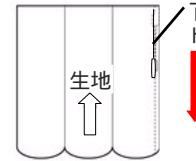


## シェード(昇降式)の操作方法

### コード式

上げるとき

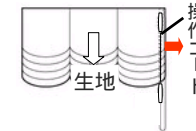
コードを真下に引くと生地が上がります。



操作コード

下げるとき

操作コードをやや強く引き手を離すと生地が下がります。



操作コード

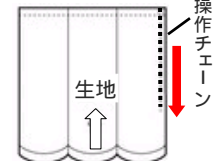
止めるとき

生地が止めたい位置まできたら操作コードを横に引くととまります。

### ドラム式

上げるとき

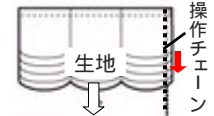
操作チェーンを下に引くと生地が上がります。生地が止めたい位置まできたらチェーンを軽く引くととまります。



操作チェーン

下げるとき

操作チェーンを一旦下に引き手を離すと、ゆっくりと下がります。



操作チェーン

裏面のお手入れ方法もあわせてご覧ください。

カーテンのクリーニングは生地をのばすだけでなく、お部屋の空気を清潔に保つ役目を果たしてくれます。ドレープ地は年に1回を目安、レースなど薄地は年に2回程度、クリーニングすることをおすすめします。  
**スタイルカーテンは特殊な縫製を行っておりますので、お手入れの時も特別注意が必要です。基本的にはクリーニング業者に依頼されることをおすすめします。**

## クリーニングに出す場合

取り外し可能な部分を取り外してご自宅で保管しておきましょう。【本紙右面参照】  
 事故を防ぐために、クリーニング前にはカーテンの寸法、洗濯ラベルの洗濯方法をお店の方と一緒に確認しましょう。特に温度設定の誤り、乾燥機不可商品での乾燥機の使用など、クリーニング事故に繋がる危険性がありますのでご注意ください。

## クリーニングお洗濯の場合は「洗濯ラベル」をご覧ください。

**普段からこまめなお手入れを**  
 長年(3年以上)クリーニングを一度もせず、急にクリーニングをすると、汚れによる劣化がすでに起きており、クリーニングの刺激によって生地の破れなどが起きることがあります。また、汚れが落ちることによって、目立たなかった日焼けや色あせが目立ってくる場合があります。

**金、銀がプリントされている生地は、洗濯によりはがれる場合があります。**  
**繊維製品はクリーニングによりある程度の伸び縮みが起こります。**  
 カタログの寸法変化率が目安ですが、ご使用になってきた環境により異なる場合もございます。特に天然素材のカーテンは寸法変化が大きいことをご承知おきください。

**裏地付カーテンの場合**  
 表地、裏地の素材が異なる場合がありますが、洗濯ラベル表示の弱い方でお取り扱いください。ドライクリーニングが最もおすすめです。(弱い順) 1. ドライクリーニング 2. 手洗い 3. 洗濯機洗い

**フリルやトリムなどが縫製仕様になっている商品は取り扱いにご注意ください。**  
 デリケートな縫製が施されているカーテンは、一般的な縫製仕様のカーテンよりもクリーニングの刺激による破れ、ホツレなどが起きやすい商品です。ご注意ください。

**房フレンジのついているカーテンはクリーニングにより房の形が崩れる恐れがあります。**  
 基本的にドライクリーニング表示となっておりますが、クリーニングにより房の形が崩れる恐れがあります。

**シェードは裏面にリングテープが縫い付けてあります。**  
 リングを外せない仕様の場合そのまま洗うこととなりますが、リングが破損する危険があるので、必ずネットに入れて洗濯してください。

**ウレタン等の芯地が全面に入っている上飾り(バランス)は型くずれが起きるため、クリーニングはできません。**

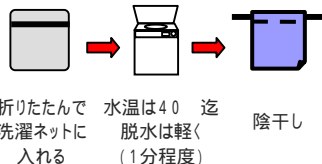
## ご家庭でお洗濯する場合

手洗い表示が洗濯機洗い表示が洗濯ラベルについている商品のみ家庭洗濯ができます。フックを取りはずした後、ひだ毎に、または大きく平たく丁寧にたたみます。中性洗剤をご使用になり、漂白剤はご使用にならないでください。

**手洗いの場合**  
 ・手洗いの場合は、水温30℃迄で、優しく押し洗いをします。もみ洗いは厳禁です。  
 ・脱水は押し絞りをお勧めしますが、脱水機なら、軽く1分程度軽くしてください。

**洗濯機洗いの場合**  
 たっぶりの水量でたくさん詰め込まずに洗います。なるべく洗濯ネットをご使用ください。水温は40℃迄にします。脱水は軽く1分程度を目安としてください。

**乾燥の仕方**  
 乾燥機はご使用にならないでください。



## 取付け、取り外し方法

### シェードの取り外し

巻いてある昇降コードを外します。

スタイルによって取り外せる部材をすべて取り外してください。

コードの根元にマジックで印を付けておく。取付けの際に目安になり、便利です。

コードアジャスター 釣鐘型ウェイト

全てのスタイル オーストリアンシェード バルーンシェードなど

昇降コードは、メカから垂れたままにしておいて外さないでください。

マジックテープをはがして、メカと生地を離してください。

からまないように、数本をひとまとめにして軽く結んでおくとういでしょう。

シェイパー ウェイトバー シェイパー用リング

タックコードなど プレーンシェード タックコードなど タックコードなど

### シェードの取付け

マジックテープで生地とメカを取付けます。

昇降コードを通します。

昇降コードをコードアジャスターにまきつけます。

スタイルによって、取り外した部材全てを元に戻します。

コードアジャスターを一番下のリングに引っかけ、巻きつけてください

最後に昇降してみて水平にあがらない様であれば、の巻き具合を調整してみてください。

### ギャザーフックの取り外し・取付け

ギャザーフックは約10cmの等間隔でついています。取付けの際は 両端 中央の順で均等につくようにしてください。



### 販売店

**製造者**  
 ユニベール株式会社 ソーイング事業部

**住所:**  
 〒920-0211 石川県金沢市湊1丁目15番2  
 電話:076-237-0777